

。○。○。○。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2017. 12. 4

下水道機構の『新技術情報』 第311号

(公財) 日本下水道新技術機構 <https://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。

今日は何の日かしらと調べてみました。1982年12月4日は、映画「E.T.」が日本で公開された日だそうです。偶然ですが、私の人生初の映画館で観た思い出の映画です。ちなみにE.T.はExtra-Terrestrialの略で「地球外生物」のことだそうです。

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第311号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

・第67回下水道新技術セミナーを、11/17に大阪会場（大阪科学技術センター）、11/28に東京会場（発明会館）にて開催しました。両会場合わせて160名の方にご参加をいただきました。

■機構の動き

・今週は、12/4(月)に技術委員会を、12/5(火)に第3審査証明委員会を、12/7(木)に第2審査証明委員会を開催します

■Tea Break

・全国温泉巡り（研究第一部 ペンネーム温泉でほっこりさんからの投稿です）

■まる子のゆいまーる

・今回のゆいまーるは東京都の木「イチヨウ」特集をお届けします！

■国からの情報

・12/1付下水道ホットインフォメーション

。○。○。○。

インフォメーション （最新の話題です）

。○。○。○。

●第67回下水道新技術セミナーを、11/17に大阪会場（大阪科学技術センター）、11/28に東京会場（発明会館）にて開催しました。両会場合わせて160名の方にご参加をい

いただきました。

下水道機構が政策支援研究として策定に携わった「下水処理場における地域バイオマス利活用マニュアル」が29年3月に国より発刊され、下水道事業から発生する下水汚泥のほか、地域における有機廃棄物を下水処理場に受け入れ、効率的に有効利用する「地域バイオマス利活用」の動きについて今後活発化が予想されます。また、地方公共団体においても先進的な取り組みが進められており、地域バイオマス活用実績も上がってきています。

当セミナーでは、今後の地域バイオマス利活用の参考としていただくため、最新の知見や国の方針、自治体における取組事例、先進技術等について専門家や当該業務に携わる自治体等の方を講師にお迎えして、ご講演いただきました。基調講演として、日本大学生産工学部の森田教授より「地域バイオマス活用の第一歩」と題して、地域バイオマスの利活用に関連した最新の知見についてご講演、国土交通省下水道部からは、下水道企画課の石崎下水道国際・技術調整官による「地域バイオマス利活用の促進に向けた国の取組」の特別講演をいただきました。さらに先行都市である自治体等からの取り組み事例では、東京会場において、石川県と中能登町から「メタン活用いしかわモデルー石川県中能登町における高濃度混合バイオマスメタン発酵ー」と題して石川県土木部都市計画課生活排水対策室の山根専門官と中能登町上下水道課の宮本主査より、大阪会場では神戸市から「神戸市東灘処理場におけるバイオマス活用事業の展開について～地産地消型の再資源化の取り組み～」と題して建設局東水環境センター施設課の児玉水環境係長より、それぞれ事例紹介のご講演をいただき、両会場において、豊橋市のバイオマス資源利活用施設整備・事業運営事業を受注した(株)豊橋バイオウィル(SPC)の中神氏から、事業の概要やPFIによる効果などの事例報告をご講演頂きました。また当機構資源循環研究部から関連する研究成果等について紹介をいたしました。

多くの方々にご参加いただき盛況のうちに終わることが出来ました。誠にありがとうございました。

来年度も引き続き、皆様の事業の参考となるようなテーマにより開催したいと思います。皆様のご参加を心よりお待ちしております！

。○○。

機構の動き (機構の行事予定です)

。○○。

●行 事：平成29年度第2回技術委員会

日 時：平成29年12月4日(月) 13:30~17:00

場 所：機構8階 特別会議室

案 件：各委員会の調査研究報告についての審議等

●行 事：平成29年度 第3回第3審査証明委員会

日 時：平成29年12月5日(火) 10:30~17:10

場 所：機構8階 中会議室

案 件：平成29年度 建設技術審査証明(下水道技術)の各依頼技術の

報告書の審議および質疑応答

●行事：平成29年度 第3回第2審査証明委員会

日時：平成29年12月7日(木) 13:30~17:30

場所：機構8階 中会議室

案件：平成29年度 建設技術審査証明（下水道技術）の各依頼技術の
報告書の審議および質疑応答

○行事：第365回技術サロン

日時：平成29年12月14日(木) 16:00~17:00

場所：機構8階 中会議室

講演者：(公財)日本下水道協会 技術研究部国際課長 松宮洋介 氏

テーマ：「トイレに流せる衛生製品問題 “こんなことが許されるのか？”」

※お申し込みは機構ホームページから

→ <https://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

。○。

Tea Break (機構職員の感じるまま)

。○。

●全国温泉巡り（研究第一部 ペンネーム温泉でほっこりさんからの投稿です）

温泉シリーズ第3弾になります。

旅行は好きな方で、国内はプライベートで全県廻っています。日本人の性なのか、やはり温泉に泊まるのは別格です。美味しいお酒と肴はデフォルトで。

過去の旅行先を整理してみると、温泉宿に泊まってない都道府県が三ヶ所ありました。最近ビジネスホテルなどで、温泉をトラック輸送して沸かしているところもありますが、そういうのは『泊まった』に含まない事にすれば、埼玉、東京、奈良が未湯（みとう）の地です。

日帰り温泉含むならなら全県踏破（湯破？）ですが、折角ですので、来年の目標として、温泉シリーズ第4弾までには達成させたいものです。

。○。

まる子のゆいまーる (皆様との交流の場です)

。○。

●今回のゆいまーるは東京都の木「イチヨウ」特集をお届けします！

→ <https://www.jiwet.or.jp/publicity/yuimaru/2017-12-4>

!(^^)!皆さまからの情報提供をお待ちしております(^^♪

提供はこちらまで→ jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則 400 字以内。写真等は A 4 版にして原則 2 ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、
掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====

下水道ホットインフォメーション (2017. 12. 1 国からの最新情報です)

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課企画専門官 堂蘭洋昭

=====

12 月になりました。寒くなりましたね。

今週は、2 月に行われる下水道駅伝の情報もいただいています。

★★★★★ 今週のヘッドライン ☆☆☆☆☆

○第 32 回下水道職員健康駅伝大会について (下水道職員健康駅伝大会実行委員会)

○NHK 教育テレビ 「シャキーン！」で神戸市でのストリーム・カメラ (幹線調査)
が放送されます (神戸市)

○「奇跡の一枚大募集」の特選が決まりました (GKP、21 世紀水倶楽部)

○「下水道使用料算定の基本的考え方 2016 年度版 (概要版)」作成のお知らせ (日本
下水道協会)

○第 365 回技術サロンを開催します。(公財) 日本下水道新技術機構)

=====

○第 32 回下水道職員健康駅伝大会について (下水道職員健康駅伝大会実行委員会)

下水道職員健康駅伝大会実行委員会からのお知らせです。

第 32 回下水道職員健康駅伝大会を下記のとおり開催します。

エントリー開始は 12 月中旬を予定していますが、会場や走行距離、募集チーム数、
午前・午後の 2 部制など、昨年からの変更点が多々がありますので、ご注意ください。

日時：平成 30 年 2 月 3 日 (土) 雨天決行

受付 9 時 30 分～10 時 30 分

開会式 10 時 30 分～

スタート 11 時 (午前の部) 12 時 30 分 (午後の部)

※エントリー時に想定タイムを登録いただき、参加いただく部を割り振る予定

閉会式 14 時 30 分～

会場：日産フィールド小机 (横浜市港北区小机町 3300)

走行距離：15,200m（第1区：2,600m、第2区～第6区：各2,000m、第7区：2,600m）

※第6区は、1,600mと400m（50歳以上及び女性に限る）に分けて走ることが可能
参加資格：行政・団体等で構成した下水道関係職員チーム（民間企業は参加できません）
競技規定：①競技は原則職場対抗。ただし、市町村で単独チームが構成できない場合は、他市町村との合同チームの参加可能。

②一つの都道府縣市町村で、複数チームの参加可能。

③チーム編成は、監督1名、正選手7名。

参加費：17,000円（参加費の一部は九州豪雨の義援金として寄付）

申し込み方法：次のホームページから申し込み（12月上旬からエントリー開始予定）

http://www.sportsone.jp/srt/stocks/srt20180203_126690.html

申し込み締め切り 平成30年1月上旬（予定）

その他：大会運営上の理由から、参加チーム数は約200チーム（午前100、午後100）。

申込者多数の場合は抽選となります。

※第31回の参加チーム数は453チーム。

事務局：下水道職員健康駅伝大会事務局

神奈川県県土整備局河川下水道部下水道課 維持管理グループ 飯塚・丸山

電話 045-210-6446（直通）

○NHK教育テレビ「シャキーン！」で神戸市でのストリーム・カメラ（幹線調査）
が放送されます（神戸市）

NHK教育テレビにて放送（月曜日から金曜日7:00～7:15）、「シャキーン！」の地下特集で、地下で頑張る面白いアイテムとして、12月7日（木）「ストリーム・カメラ」が取り上げられることになり、神戸市は汚水幹線を提供し、撮影を応援しました。

「ストリーム・カメラ」は、神戸市の汚水幹線調査で平成22年度から採用し、これまで約40km/年のペースで調査を実施しています。

みなさま、ぜひご覧ください。

放送予定 12月7日（木）7:00～7:15

番組HP <http://www.nhk.or.jp/kids/program/shakiin.html>

○「奇跡の一枚大募集」の特選が決まりました（GKP、21世紀水倶楽部）

下水道広報プラットフォーム（GKP）とNPO法人21世紀水倶楽部は、活性汚泥微生物の貴重な写真・動画の提供を呼び掛けるプロジェクト「奇跡の一枚大募集」において、宮城県下水道公社大和浄化センターおよび東京都小平市ふれあい下水道館から寄せられた2作品を「特選」に選定しました。

「奇跡の一枚大募集」は、活性汚泥微生物が下水道広報素材として有用であることから、その美しい姿や珍しい生態などを捉えた貴重な画像・動画を集めて共有し、下水道広報やPRグッズの開発等に積極的に活用していくプロジェクトです。

平成29年4月、両団体の主催でスタートし、これまでに全国から14の作品が寄せられました。「特選」を含む作品は21世紀水倶楽部が運営するサイトで公開中ですので、是非ご覧ください。また、作品の応募もお待ちしています。

【奇跡の一枚大募集の概要と作品、募集要項はこちら】

<http://www.2lwater.jp/kassei/>

○「下水道使用料算定の基本的考え方 2016年度版（概要版）」作成のお知らせ（日本下水道協会）

日本下水道協会では、平成29年3月に「下水道使用料算定の基本的考え方（2016年度版）」（以下「基本的考え方」という。）を発刊しました。

下水道使用料改定に際しては、使用料算定期間内における使用料対象経費を正確に把握し、適正な水準で使用者に負担を求めることが必要です。基本的考え方には、これらのノウハウや事例等を多数掲載しております。

今般、多くの方々に基本的考え方の掲載内容を知っていただくため、概要版を作成しました。

会員の方には、下水道協会誌（12月号）に同封しお届けする予定ですが、日本下水道協会HPにも掲載していますので、御活用いただければ幸いです。

<http://www.jswa.jp/yrIDK>

【参考】：「【図書概要版作成】「下水道使用料算定の基本的考え方（2016年度版）」の概要版を作成しました。」

<http://www.jswa.jp/RA1xD>

○第365回技術サロンを開催します。（（公財）日本下水道新技術機構）

（公財）日本下水道新技術機構では、地方公共団体・民間企業等広く多くの下水道事業関係者を対象に、下水道に係わる最近の話題や新技術に関する交流の場として、月に1回（8月を除く）「技術サロン」を開催しております。

12月は、『トイレに流せる衛生製品問題 “こんなことが許されるのか？”』をテーマに、公益社団法人日本下水道協会 技術研究部国際課長 松宮洋介氏をお招きし開催いたします。

テーマ：『トイレに流せる衛生製品問題 “こんなことが許されるのか？”』

ゲスト：公益社団法人日本下水道協会 技術研究部国際課長 松宮洋介氏

日時：平成29年12月14日（木） 16:00～17:00

場所：下水道機構8階 中会議室

※お申し込みは機構ホームページから

→ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

みなさまのご参加お待ちしております！

=====

【参考情報】

- ◆浸水対策達成59% 沖縄県内、未着手も2村 〈11/24 琉球新聞〉
<https://ryukyushimpo.jp/news/entry-618846.html>
- ◆西松建設、シンガポールの下水道工事 273 億円で受注 〈11/27 日本経済新聞〉
<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ023943770X21C17A1TJ1000/>
- ◆京都市上下水道局、十条に移転へ 跡地は駅東南の振興拠点に 〈11/29 京都新聞〉
<http://kyoto-np.co.jp/politics/article/20171129000086>
- ◆マンホールカードで合格祈願 「凸凹して滑らない」
群馬・館林市が12月2日から500枚無料配布 〈11/29 産経ニュース〉
<http://www.sankei.com/life/news/171129/lif1711290032-n1.html>
- ◆三重・鈴鹿市「マンホールカード」発行
「鈴鹿山脈から湧き出た清水が伊勢湾に注ぎ込む」様子描く 〈11/29 産経 WEST〉
<http://www.sankei.com/west/news/171129/wst1711290026-n1.html>
- ◆早川ゴム、集合住宅などの改修に的 部材生産の新工場完成 〈11/30 日本経済新聞〉
<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ024052590Z21C17A1LC0000/>
- ◆バイオマスの過剰認定は太陽光に次ぐバブル? 〈11/30 日経ビジネス ONLINE〉
<http://business.nikkeibp.co.jp/atcl/report/16/022700115/112000054/>

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<https://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信停止はこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/member-mag-unsubscribe>

○ニューズレターはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/newsletter/20170426/index.html>
